

政策	32 安全安心な暮らしの確保						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	市民を犯罪や交通事故から守り、消費者の利益を擁護する取り組みを推進し、誰もが安全・安心に暮らせる環境整備を図る						
成果指標	年間犯罪件数...5年間(平成25年度~平成29年度)で1,220件(現状値1,355件) 年間交通事故件数...5年間(平成25年度~平成29年度)で500件(現状値557件) 消費者行政への市民満足度...5年間(平成25年度~平成29年度)で50.0%(現状値33.5%)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [件]	予定	1,567.00	1,310.00	1,280.00	1,250.00	1,220.00
		実績	1,242.00	1,198.00	1,257.00	850.00	
	成果指標2 [件]	予定	521.00	545.00	530.00	515.00	500.00
		実績	479.00	395.00	384.00	367.00	
	成果指標3 [%]	予定					50.00
		実績				22.20	
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定						
	実績	507,597	396,175	271,710	310,847		
内部評価	貢献度	基本方針が目指す安全安心で快適に暮らせるまちづくりを進めるうえで、本基本施策の目標達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	犯罪件数、交通事故件数ともに目標に達した。					
	課題	交通安全や防犯対策は、警察等関係団体と更に連携する必要がある。また、消費者行政は市民が主体的に行動できるよう消費者教育を推進し、情報提供をしていく必要がある。					
	取組方針	防犯、交通安全、消費者利益の擁護のため、関係機関団体との連携を強化し、様々な機会を捉え、周知、啓発活動を実施し、市民の意識高揚を図る。					
外部評価	<p>指標の中で、犯罪件数・交通事故件数が減少していることは、一定の評価であると言える。引き続き啓発等に努めてほしい。</p> <p>防犯や災害への対応は、やはり市民意識の高揚を図ることが重要であると思われる。そのためにも、いろいろな形で市民に啓発を図ってほしい。また、高齢者などの弱者を地域で支えあう仕組みづくりをお願いしたい。市内企業等にも協力をお願いしてもよいと思われる。</p> <p>また、今年度から特殊詐欺対策電話等の購入に際し、助成金を出しているとのことであり、とても良い事業であると思われるが、市民に対して周知が弱いと感じる。オレオレ詐欺の撃退には、効果があると聞いているので、高齢者世帯への普及を積極的をお願いしたい。</p>						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	3201	防犯・交通安全対策の充実				275,374	100
	3203	消費生活の安定と向上				25,819	100
	3202	市民相談の充実				9,654	77